

ライターの秋山です。22日の瀬上店の店頭販売の様子と、23日に同行させていただいた共同購入部佐藤哲夫相双支部長、市川正樹さんによる南相馬市、相馬市、新地町の介護施設、避難所（計7カ所）への支援物資搬送、そして各地から支援に訪れている全国の生協の皆さんの到着状況をお伝えします。



対策本部には  
賀川豊彦の言葉が

### 1. 瀬上店での店頭販売は活気にあふれていました

22日、天井の補修工事と同時に行っていた瀬上店の店頭販売は多くの方々が来店。スタッフの方々も役割分担をうまく行き混乱も皆無でした。



販売開始と同時に  
商品は次々とカゴの中へ

### 2. 南相馬市、相馬市、新地町の福祉施設、避難所に支援物資をお届け



「避難所に行ってこそいないが、自宅や施設で物資が足りず困っている人は相当いる。遠慮もあって声をあげることは少ないが、そうした方々を見つけ出し支援する必要がある」（コープふくしま野中専務）。県内の老人介護施設などの福祉施設に電話を掛け、足りていない物資をヒアリングしお届けするコープふくしま共同購入部の支援

活動に 23 日、同行しました。この日は、前日に電話をかけ必要のある物資を聞きとった南相馬市、相馬市、新地町の計 7 カ所の福祉施設と避難所を訪問。津波の爪あとが残り原発問題の影響も強く受ける地域で、スタッフの数も減る中、必死に施設の運営を続ける職員の方々に物資（水、トイレトペーパー、缶詰、菓子、下着など）をお届けしました。

特に南相馬市では、ほとんどの店舗が閉店状態。人はほとんど見かけず、避難時に放されたと思われる飼い犬が歩き回るような状況。でも、そうした場所で生活を続けている人たちは確実にいます。そこに支援を届かせる必要性を痛感しました。相双支部は 28 日から再開するそうです。

握手を求められる佐藤支部長（右）と帰り際スタ



ツフさんに飲み物をいただく市川さん（左）

### 3. 支援スタッフの皆さんが続々到着&活躍中

23 日夜に到着された埼玉生協の支援スタッフ 4 名の皆さんはその晩にミーティングを完了。翌 24 日よりコープマート方木田店などで支援についておられます。また同日、広島生協からも支援スタッフ 4 名が到着。本日 25 日より支援に入られるとのこと



方木田店にさいたまコープのトラックが到着（右上）。品出し作業をお手伝い中のさいたまコープの関根一弘さん（左下）